

グローイング・ フロンティア株式 ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

第 2 期

決算日 2019年6月26日

受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、フロンティア諸国の株式等へ投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年6月12日から2027年6月28日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、フロンティア諸国の株式等へ投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーフロンティア・マーケット・エクイティ・ ファンド(クラスS、米ドル建て) フロンティア諸国の企業の株式等 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、フロンティア諸国の企業の株式等へ投資を行います。 ■実質的な運用は、フロンティア諸国および新興国を含む世界の株式運用に強みを持つ、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドが行います。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年1回(原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

 三井住友DSアセットマネジメント

(旧:三井住友アセットマネジメント)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率			
(設 定 日) 2017年6月12日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 10
1 期 (2018年6月26日)	10,057	0	0.6	0.0	96.3	20,805
2 期 (2019年6月26日)	9,336	0	△7.2	0.0	95.6	9,447

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		騰落率		
(期 首) 2018年6月26日	円 10,057	% —	% 0.0	% 96.3
6 月末	9,840	△ 2.2	0.0	96.8
7 月末	10,087	0.3	0.0	97.7
8 月末	9,411	△ 6.4	0.0	97.7
9 月末	9,691	△ 3.6	0.0	99.1
10 月末	8,972	△10.8	0.0	98.8
11 月末	9,096	△ 9.6	0.0	98.3
12 月末	8,684	△13.7	0.0	97.5
2019年1 月末	8,993	△10.6	0.0	98.0
2 月末	9,335	△ 7.2	0.0	98.0
3 月末	9,267	△ 7.9	0.0	98.0
4 月末	9,369	△ 6.8	0.0	97.9
5 月末	9,246	△ 8.1	0.0	98.5
(期 末) 2019年6月26日	9,336	△ 7.2	0.0	95.6

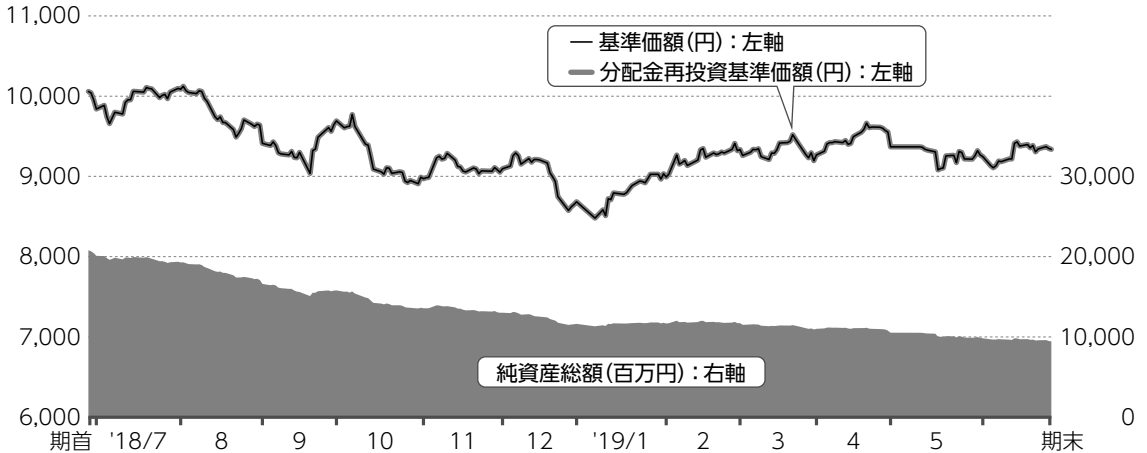
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,057円
期末	9,336円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	-7.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主としてフロンティア株式市場の上場株式等に投資しました。組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 1月から期末にかけて、米国の利上げ先送りや米中貿易交渉の進展期待から、フロンティア株式市場が上昇したこと。

下落要因

- 期初から12月にかけて、米国の利上げ継続や新興国通貨への懸念などから、フロンティア株式市場が下落したこと。
- 期を通して見れば、スリランカ株が大きく下落したこと
- 期を通して見れば、スリランカやアルゼンチンの通貨が大きく下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV – フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド (クラスS、米ドル建て)	外国株式	95.6%
マネー・マーケット・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

当期のフロンティア株式市場は上昇しました。また、為替市場は対米ドルでやや円高となりました。

フロンティア株式市場

期前半は概ね下落、後半は上昇し、期を通じては上昇しました。

期初から12月にかけて、フロンティア市場は下落しました。米国による中国への制裁関税の発動以降、米中貿易問題が深刻化、長期化する懸念が強まったことが、フロンティア市場にも悪影響を与えかねないと嫌気されました。また、8月のトルコ通貨危機をきっかけにアルゼンチンなど一部フロンティア市場の通貨が連鎖的に急落したことや、米国で景気が概ね順調で金利先高観が高まり投資資金の流出が懸念されたことが、フロンティア市場が売られやすい一因となりました。

しかし、2019年1月から期末にかけて、フロンティア市場は反発しました。FRB(米連邦準備制度理事会)は、米中貿易摩擦の激化に伴う米国を含む世界経済の減速懸念から金融引締めを先送りしました。この米国の金融政策の転換は、フロンティア市場にポジティブと受け止められました。また、米トランプ大統領が、中国に対する追加の制裁関税の実施を90日間延期すると発表、米中貿易交渉の進展に対する期待が高まったことも評価されました。

5月には、トランプ大統領が中国に対する追加の制裁関税の実施を突如発表して反落する場面もありましたが、米国が利下げを実施するとの期待が強まったことで、期末にかけてフロンティア市場は再び上昇トレンドに戻り、前半の下げを取り戻して期を終えました。

当期の市場の動きをMSCIフロンティア・エマージング・マーケット・ネットータルリターン・インデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて8.2%の上昇となりました。

個別国をみると、アルゼンチン株が大きく上昇しました。トルコショックに端を発した新興国市場への懸念が落ち着いたこと、IMF(国際通貨基金)からの支援受け入れ、年明け以降の米国の金融政策の転換などを好感し、期末まで堅調に推移しました。一方、スリランカの株式が大きく下落しました。国内のインフラ整備に伴う中国に対する負債が重く、返済能力や経済運営について疑問視されました。

為替市場

対円での米ドルは方向感に欠ける展開でしたが、期を通じてはやや米ドル安・円高とな

りました。

フロンティア通貨は円に対して総じて下落しました。

期初から12月上旬にかけては、米ドル高・円安の展開でした。米中貿易問題の深刻化にも関わらず米国経済が概ね順調だったこと、米国の金融政策の引締め継続見通し、日銀の緩和政策の継続などが、手掛かりとなりました。

12月中旬から下旬にかけては米ドル安・円高が一気に進む展開となりました。米国景気減速の兆しなどからFRBが利上げペースを見直し、市場では利下げ期待も高まるなど、米国の金融政策への見方が大きく転換したことで米ドルが一気に売られる展開となりました。

1月から4月にかけては、再び米ドル高・円安の展開となりました。米国の金融政策の転換により利下げによる景気下支えが期待されたことや、トランプ大統領による対中追加制裁関税実施延期の発表により米中貿易交渉の進展期待が高まったことなどが好感されました。

しかし、5月から期末にかけては、再び米ドル安・円高となりました。トランプ大統領による対中追加制裁関税の実施発表で世界経済に対する不透明感が一気に高まり、米国が利下げするとの期待が強まったことなどが要因です。

当期の米ドル・円は、期首109円57銭から期末107円34銭と、2円23銭の米ドル安・円高となりました。

なお、円に対するフロンティア各国の通貨は、期を通じてアルゼンチンペソやスリランカルピーなどを中心に、フロンティア通貨安・円高の傾向となりました。アルゼンチンペソは8月のトルコ危機をきっかけとした新興国通貨の連鎖安から急落しました。9月以降、下落は一服しましたが、高いインフレ率やマイナス成長などを背景に期末まで底這いの動きに終始しました。

当期のアルゼンチンペソ・円は期首4円05銭から期末2円53銭に、スリランカルピー・円は期首0円69銭から期末0円61銭に下落しました。

ポートフォリオについて(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

当ファンド

「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーフロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」

および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーフロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」の組入れを高位に維持しました。

ティール・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)

主として、フロンティア株式市場の企業の株式に投資しました。期初から12月までは当ファンドは下落しました。米中貿易摩擦の長期化などを背景とした世界的なリスク回避傾向の高まりから、フロンティア市場が下落したことが主な要因です。また、8月のトルコの通貨危機をきっかけに、一部のフロンティア市場やエマージング市場の通貨や株式市場が急落したことも市場の下押し圧力となり、当ファンドにマイナスに影響しました。

一方、1月から期末にかけては緩やかに上昇しました。米国の金融政策の転換により米金利の低下見通しが強まったことや、米中貿易交渉の進展期待を背景にリスク選好ムードが高まったことなどが背景です。5月の米トランプ大統領の対中追加関税発動に関する発言で一時的に反落する場面もありましたが、米国の利下げ見通しが強まったことなどから、後半は概ね上昇傾向を維持しました。

●国別配分

主にボトムアップ(個別銘柄の調査・分析を重視するアプローチ)による組入れを積み

上げた結果、クウェート、ベトナム、ナイジェリア、アルゼンチン、サウジアラビア、スリランカなどを多く組み入れました。期中では、為替の急落やインフレ率の急騰、経済情勢の悪化などを考慮してアルゼンチンの組入れを減らすとともに、中長期の成長見通しなどを考慮して、クウェートの組入れを増やしました。

●業種配分

国別配分と同様にボトムアップによる組入れを積み上げた結果、国際的な規制や監視体制が及ぶ金融や、食品・飲料・たばこなどを含む生活必需品、不動産関連などを多く組み入れました。期中では、国際的な規制などから一定の財務健全性が期待される金融をやや増やす一方で、設備投資負担や料金規制などによる収益性悪化の見通しなどから電気通信サービスなどをやや減らしました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、流動性の確保などに配慮した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

当期の分配は、基準価額水準等を勘案し、見送りとしたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV—フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV—フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」の組入れを高位に維持します。また、実質外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いません。

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV—フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)

主として、フロンティア株式市場の株式等

(上場予定の株式や預託証書(DR)等を含みます)に投資します。フロンティア市場は全体として、足もとで経済的、政治的に明らかな改善傾向をみせています。2018年に起きた市場の一時的混乱により、多くの新興国は為替レートや市場のバリュエーション(価格評価)が魅力的な水準になり、中長期的に見て魅力的な材料が増えつつあります。長期的な成長性見通しの高さや主要先進国の景気循環との相関性の低さなどもあり、再び注目が集まっています。

フロンティア・アジア全体の成長見通しについては、一貫して良好なファンダメンタルズ(基礎的条件)と比較的健全な財政収支を背景に、ポジティブに考えています。特に、ベトナムは携帯電話など高付加価値製品を中心に先進国と同等の高品質な水準で製品輸出を

伸ばしていること、生産性の高い中産階級の若者人口が増え続けていることなどから、経済成長に対する安心感を評価しています。

中東では、クウェートが証券市場の改革を行ったことで注目を集めました。同国は2019年にMSCI指数の分類においてエマージング国への格上げが検討され、2020年の再分類の際に格上げが行われる見通しです。サウジアラビアも2019年5月下旬にエマージング国への格上げが実施され、8月には追加で指数への採用銘柄が発表される見通しです。石油以外の産業に関して、財政支援を含めて育成、強化している国家改革計画につき、その着実な実行を注視していきます。

アフリカは、魅力的な人口動態に加え、商品価格市況の緩やかな改善などにより順調な経済成長が期待されます。特にナイジェリアは2年間にわたる景気後退から回復し、以前に比べると為替水準が適切な水準に修正されたこと、最低賃金の上昇、石油・非石油業界ともに業績が改善傾向にあることなどを背景に、魅力的な投資機会にあると考えています。今後は政府による経済成長重視の政策や為替レートの安定などに注目していきます。

アルゼンチンについては、5月下旬にMSCIがフロンティア国へ格上げしたものの、相対的に市場規模が小さく、為替や経済基盤などに一定の課題も残ることから、MSCIは「フロンティア・エマージング国」の分類にも重ねて指定しています。現状ではアルゼンチン、コロンビア、エジプト、パキスタン、ペルー、フィリピンの6カ国が該当

します。当ファンドでは、MSCIの分類格上げ状況やアルゼンチンのファンダメンタルズ、中長期の魅力度などを考慮して、主としてフロンティア国への投資を維持した上で、フロンティア・エマージング国へも投資を行う予定です。具体的には、これまで投資していたアルゼンチンへの投資を今後も継続する予定で、実質的な運用には変更ありません。アルゼンチンは足もとではまだ厳しい環境にありますが、財政の改善に取り組んでおり、見通しはポジティブなためです。IMF(国際通貨基金)による追加支援など外部からの金融支援や、マクリ大統領による改革プログラムなどを通じて急激なインフレ率の上昇や債務負担への対応がなされたため、今年中には徐々に景気後退から脱していくと予想しています。2019年の大統領選挙は今後の経済立て直しのサポート要因になると考えており、マクリ大統領の再選見通しや経済状況を注視していきます。

フロンティア株式市場にはリスクもありますが、国際分散投資の点から一定の組入れを行うことは魅力的だと考えています。現在のフロンティア市場のファンダメンタルズや人口増加、若年層の多い年齢構成などは強みで、15-20年前のエマージング市場に似た部分などもあります。GDP(国内総生産)は中期的に概ね+6~9%程度の成長が期待され、先進国や新興国市場よりはるかに魅力的です。また、フロンティア市場の人口は60%近くが30歳以下で、経済成長を推進し、堅実な中産階級の消費者へ成長する労働力となって

います。

今後も引き続き、それぞれの投資国の政治・経済状況や産業動向、個別企業などに対する徹底的な調査・分析を行い、中長期的な視点から株価に割安感があり、魅力的と判断する銘柄への投資を行ってまいります。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、流動性の確保などに配慮した運用を行います。

3 お知らせ

合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2019年4月1日)

グローイング・フロンティア株式ファンド

■ 1万口当たりの費用明細(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	104円	1.110%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(30)	(0.324)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(71)	(0.756)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.030)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	91	0.979	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(91)	(0.971)	その他：組入れファンドの管理報酬等
合計	195	2.089	

期中の平均基準価額は9,332円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「損益及び純資産変動計算書」をご覧ください。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2018年6月27日から2019年6月26日まで)

(1) 投資信託証券

			買付		売付	
			口数	買付額	口数	売付額
外国	アメリカ	ティール・ロウ・プライス・ファンズ	□	千米ドル	□	千米ドル
		SICAV-フロンティア・マーケット・	-	-	8,934,294	88,806
		エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)	-	-	8,934,294	88,806
		合計	-	-	8,934,294	88,806

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 2,175	千円 2,180	千口 -	千円 -

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

グローイング・フロンティア株式ファンド

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年6月27日から2019年6月26日まで)

利害関係人との取引状況

グローイング・フロンティア株式ファンド

当期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・マーケット・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 67	百万円 17	% 25.4	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 1.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当該ファンドに係る利害関係人とは、S M B C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年6月27日から2019年6月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年6月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ティー・ロウ・プライス・ファンズ S I C A Vフロンティア・マーケットツ・ エクイティ・ファンド (クラスS、米ドル建て)	17,058,324	8,124,030	84,164	9,034,266	95.6
合 計	17,058,324	8,124,030	84,164	9,034,266	95.6

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 9	千口 2,185	千円 2,188	千円 2,188

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は89,650千口です。

※単位未満は切捨て。

グローイング・フロンティア株式ファンド

■ 投資信託財産の構成

(2019年6月26日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	9,034,266	93.4
マネー・マーケット・マザーファンド	2,188	0.0
コール・ローン等、その他	639,947	6.6
投資信託財産総額	9,676,401	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(9,334,462千円)の投資信託財産総額(9,676,401千円)に対する比率は96.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=107.34円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月26日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	9,814,964,878円
コール・ローン等	478,453,752
投資証券(評価額)	9,034,266,319
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	2,188,899
未 収 入 金	300,055,908
(B) 負 債	367,701,593
未 払 金	138,563,030
未 払 解 約 金	167,887,245
未 払 信 託 報 酬	60,832,683
未 払 利 息	883
そ の 他 未 払 費 用	417,752
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	9,447,263,285
元 本	10,118,661,077
次 期 繰 越 損 益 金	△ 671,397,792
(D) 受 益 権 総 口 数	10,118,661,077口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,336円

※当期における期首元本額20,687,657,090円、期中追加設定元本額141,067,279円、期中一部解約元本額10,710,063,292円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 分配金のお知らせ

	当 期
1万口当たり分配金(税引前)	-円

■ 損益の状況

(自2018年6月27日 至2019年6月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	86,336円
受 取 利 息	287,860
支 払 利 息	△ 201,524
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 448,735,069
売 買 損 益	658,462,412
売 買 損 益	△ 1,107,197,481
(C) 信 託 報 酬	△ 278,416,774
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 727,065,507
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 142,776,905
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	198,444,620
(配 当 等 相 当 額)	(△ 171,940)
(売 買 損 益 相 当 額)	(198,616,560)
(G) 計 (D + E + F)	△ 671,397,792
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 671,397,792
追 加 信 託 差 損 益 金	198,444,620
(配 当 等 相 当 額)	(△ 171,940)
(売 買 損 益 相 当 額)	(198,616,560)
繰 越 損 益 金	△ 869,842,412

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(0円)および分配準備積立金(0円)より分配可能額は0円(1万口当たり0円)ですが、分配は行っていません。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド (クラスS、米ドル建て)
形態	ルクセンブルグ籍投資信託
主要投資対象	フロンティア諸国の企業の株式等を主要投資対象とします。
運用の基本方針	主としてフロンティア諸国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
ベンチマーク	MSCI フロンティア・マーケット・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一企業の発行する株式等への投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
決算日	原則として、毎年12月31日
分配方針	分配しません。
運用管理費用	信託報酬およびその他の費用の負担があります。
信託報酬	純資産総額に対して年0.95%
管理およびその他の費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVの資産の最大0.07%、最低0.01%、またはファンド毎に40,000米ドルの高い方となる管理事務代行者報酬 ・保管される資産額に応じて、最大0.025%、最低0.001%となる保管者報酬 ・ファンドの管理・保管・設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
信託財産留保額	ありません。
申込手数料	ありません。
スウィング・プライシング	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。
投資顧問会社	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド (クラスS、米ドル建て)」をシェアクラスとして含む「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書(2018年1月1日から2018年12月31日まで)

(単位：米ドル)

収益	
受取利息（源泉税控除後）	80
受取配当金（源泉税控除後）	10,675,783
収益合計	10,675,863
費用	
運用報酬	2,296,027
保管報酬	73,264
経理および受益者サービス費用	138,935
専門家報酬	13,295
年次税	110,805
その他利息	222,485
その他費用	66,606
費用合計	2,921,417
運用会社が放棄、または負担した費用控除前の純投資収益（損失）	7,754,446
運用会社が放棄、または負担した費用	55,627
純投資収益（損失）	7,810,073
純実現収益（損失）：	
スイング・プライシング	377,872
投資有価証券（外国税控除後）	(18,134,482)
為替先渡契約	(47,665)
外貨取引	(392,624)
純実現利益（損失）	(18,196,899)
未実現評価益（評価損失）変動額：	
投資有価証券（外国税控除後）	(71,671,942)
その他外国通貨建資産・負債	6,377
純未実現評価益（評価損失）変動額	(71,665,565)
営業活動に伴う純資産増加（減少）額	(82,052,391)
配当：	
配当による純資産の純減少	(9,997)
純資産変動：	
買付申込金受入	121,560,020
償還金支払	(233,644,596)
買付・償還に伴う純資産純増加（減少）額	(112,084,576)
純資産増加（減少）合計額	(194,146,964)
期首純資産額	482,865,075
期末純資産額	288,718,111

グローイング・フロンティア株式ファンド

■ 投資有価証券明細表(2018年12月31日現在)

銘柄	通貨	株数/額面	時価(米ドル)	純資産 比率(%)
公式取引所に上場された市場性有価証券および短期金融商品				
株式				
アルゼンチン				
BBVA Banco Frances SA, ADR	USD	517,670	5,777,197	2.00
Globant SA	USD	75,478	4,317,342	1.50
Grupo Financiero Galicia SA, ADR	USD	557,776	15,199,396	5.26
Importadora y Exportadora de la Patagonia SA 'B'	ARS	1,636,169	1,051,388	0.36
IRSA Propiedades Comerciales SA, ADR	USD	30,929	550,846	0.19
Loma Negra Cia Industrial Argentina SA, ADR	USD	682,937	7,327,914	2.54
MercadoLibre, Inc.	USD	6,524	1,909,444	0.66
Tenaris SA, ADR	USD	86,300	1,841,642	0.64
			37,975,169	13.15
バーレーン				
Aluminium Bahrain BSC	BHD	744,807	1,185,589	0.41
			1,185,589	0.41
バングラデシュ				
BRAC Bank Ltd.	BDT	1,536,645	1,339,511	0.46
GrameenPhone Ltd.	BDT	718,283	3,150,907	1.09
Singer Bangladesh Ltd.	BDT	848,331	2,244,945	0.78
			6,735,363	2.33
ボツワナ				
First National Bank of Botswana Ltd.	BWP	5,886,689	1,344,142	0.47
			1,344,142	0.47
カナダ				
Africa Oil Corp.	SEK	727,196	561,956	0.19
First Quantum Minerals Ltd.	CAD	98,098	773,705	0.27
			1,335,661	0.46
クロアチア				
Zagrebacka Banka dd	HRK	268,541	2,370,454	0.82
			2,370,454	0.82
ジョージア				
Bank of Georgia Group plc	GBP	105,997	1,868,407	0.65
Georgia Healthcare Group plc, Reg. S	GBP	651,304	1,700,818	0.59
			3,569,225	1.24
ヨルダン				
Al-Eqbal Investment Co. plc	JOD	42,579	780,385	0.27
			780,385	0.27

グローイング・フロンティア株式ファンド

銘柄	通貨	株数/額面	時価(米ドル)	純資産 比率(%)
カザフスタン				
NAC Kazatomprom JSC, Reg. S, GDR	USD	185,421	2,523,951	0.87
			2,523,951	0.87
ケニア				
Equity Group Holdings plc	KES	7,079,792	2,424,396	0.84
Safaricom plc	KES	10,803,000	2,356,555	0.82
			4,780,951	1.66
クエート				
Agility Public Warehousing Co. KSC	KWD	2,741,416	7,240,624	2.51
Boubyan Bank KSCP	KWD	4,604,935	8,492,553	2.94
Humansoft Holding Co. KSC	KWD	901,478	9,737,684	3.37
Mabaneer Co. SAK	KWD	2,758,936	5,506,060	1.91
National Bank of Kuwait SAKP	KWD	10,116,763	27,786,532	9.62
			58,763,453	20.35
リトアニア				
Siauliu Bankas AB	EUR	2,298,286	1,053,855	0.37
			1,053,855	0.37
モロッコ				
Attijariwafa Bank	MAD	111,149	5,262,330	1.82
Label Vie	MAD	12,954	2,638,700	0.92
Societe d' Exploitation des Ports	MAD	82,607	1,415,908	0.49
			9,316,938	3.23
ナイジェリア				
Dangote Cement plc	NGN	7,984,774	4,159,867	1.44
FBN Holdings plc	NGN	264,529,408	5,775,513	2.00
Guaranty Trust Bank plc, Reg. S, GDR	USD	300,066	1,421,909	0.49
Guaranty Trust Bank plc	NGN	102,521,153	9,699,564	3.36
Nestle Nigeria plc	NGN	1,894,451	7,726,082	2.68
			28,782,935	9.97
ルーマニア				
Banca Transilvania SA	RON	12,183,235	5,992,245	2.08
BRD-Groupe Societe Generale SA	RON	1,593,913	4,457,404	1.54
MED Life SA	RON	459,205	3,018,936	1.05
Sphera Franchise Group SA, Reg. S	RON	185,501	898,723	0.31
			14,367,308	4.98
サウジアラビア				
Al Rajhi Bank	SAR	110,614	2,580,168	0.89
Bupa Arabia for Cooperative Insurance Co.	SAR	247,015	5,333,817	1.85
Herfy Food Services Co.	SAR	98,795	1,200,963	0.42

グローイング・フロンティア株式ファンド

銘柄	通貨	株数/額面	時価(米ドル)	純資産 比率(%)
Mouwasat Medical Services Co.	SAR	149,129	3,200,279	1.11
Samba Financial Group	SAR	424,475	3,553,134	1.23
Saudi British Bank (The)	SAR	351,679	3,060,972	1.06
Saudi Co. For Hardware CJSC	SAR	149,485	2,638,064	0.91
United International Transportation Co.	SAR	410,104	2,880,742	1.00
			24,448,139	8.47
シンガポール				
Yoma Strategic Holdings Ltd.	SGD	4,131,433	1,031,268	0.36
			1,031,268	0.36
スロベニア				
Nova Ljubljanska Banka dd, Reg. S, GDR	EUR	184,070	2,738,373	0.95
			2,738,373	0.95
南アフリカ				
MTN Group Ltd.	ZAR	328,587	2,031,683	0.70
			2,031,683	0.70
スリランカ				
Ceylon Cold Stores plc	LKR	941,908	3,697,594	1.28
Commercial Bank of Ceylon plc	LKR	4,666,076	2,933,837	1.01
Dialog Axiata plc	LKR	30,228,280	1,669,249	0.58
Lion Brewery Ceylon plc	LKR	1,182,545	3,685,350	1.28
			11,986,030	4.15
タンザニア連合共和国				
NMB Bank plc	TZS	95,458	97,266	0.03
Vodacom Tanzania Ltd.	TZS	3,150,996	1,029,065	0.36
			1,126,331	0.39
アラブ首長国連邦				
ADES International Holding Ltd., Reg. S	USD	282,829	3,867,687	1.34
Aramex PJSC	AED	2,657,531	3,104,034	1.07
			6,971,721	2.41
英国				
KAZ Minerals plc	GBP	152,077	1,035,665	0.36
Tullow Oil plc	GBP	1,179,686	2,704,618	0.94
Vivo Energy plc, Reg. S	GBP	2,230,851	3,569,640	1.23
			7,309,923	2.53
ベトナム				
Asia Commercial Bank	VND	3,541,051	4,947,753	1.71
DHG Pharmaceutical JSC	VND	582,075	1,982,867	0.69
FPT Corp.	VND	2,011,077	3,886,595	1.35
Hoa Phat Group JSC	VND	2,112,577	2,828,014	0.98

グローイング・フロンティア株式ファンド

銘柄	通貨	株数/額面	時価(米ドル)	純資産 比率(%)
Military Commercial Joint Stock Bank	VND	12,528,212	11,271,579	3.90
Mobile World Investment Corp.	VND	769,546	3,074,540	1.06
Nam Long Investment Corp.	VND	3,904,495	4,610,078	1.60
Vietnam Dairy Products JSC	VND	1,220,773	6,332,645	2.19
Vietnam Prosperity JSC Bank	VND	3,339,578	3,067,929	1.06
Vincom Retail JSC	VND	3,048,069	3,684,553	1.28
			45,686,553	15.82
ザンビア				
Standard Chartered Bank Zambia plc	ZMW	6,961,824	1,535,396	0.53
			1,535,396	0.53
株式合計			279,750,796	96.89
公式取引所に上場された市場性有価証券および短期金融商品合計			279,750,796	96.89
その他の規制市場で取引される市場性有価証券および短期金融商品				
株式				
ルワンダ				
BK Group plc	KES	14,697,031	4,563,922	1.58
			4,563,922	1.58
株式合計			4,563,922	1.58
その他の規制市場で取引される市場性有価証券および短期金融商品合計			4,563,922	1.58
承認されたUCITSもしくはその他の集団投資スキームファンド受益証券				
オルタナティブ投資ファンド				
ルーマニア				
Fondul Proprietatea SA	RON	13,024,020	2,821,099	0.98
			2,821,099	0.98
オルタナティブ投資ファンド合計			2,821,099	0.98
承認されたUCITSもしくはその他の集団投資スキームファンド受益証券合計			2,821,099	0.98
投資有価証券合計			287,135,817	99.45
現金			2,622,270	0.91
その他資産(負債)			(1,039,976)	(0.36)
純資産合計			288,718,111	100.00

マネー・マーケット・マザーファンド

第8期 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入 比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率		
4期 (2015年3月2日)	10,035	0.1	98.5	97
5期 (2016年3月1日)	10,039	0.0	84.3	93
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

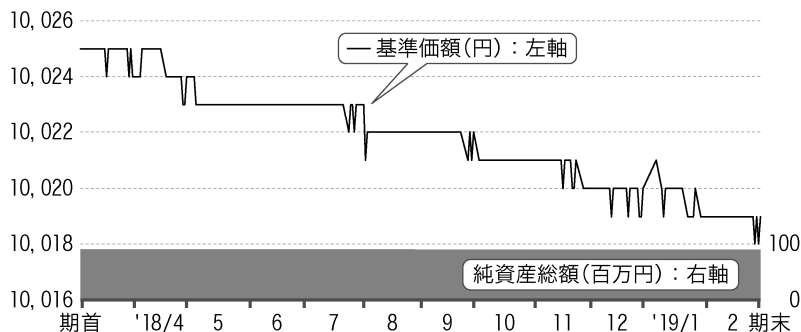
年月日	基準価額		債券組入 比率
	円	騰落率	
(期首) 2018年3月1日	10,025	—	76.9
3月末	10,024	△0.0	76.8
4月末	10,024	△0.0	77.1
5月末	10,023	△0.0	76.9
6月末	10,023	△0.0	76.9
7月末	10,023	△0.0	77.0
8月末	10,022	△0.0	77.5
9月末	10,022	△0.0	77.4
10月末	10,021	△0.0	77.3
11月末	10,020	△0.0	74.1
12月末	10,020	△0.0	74.0
2019年1月末	10,019	△0.1	73.9
2月末	10,018	△0.1	54.9
(期末) 2019年3月1日	10,019	△0.1	74.1

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	10,025円
期末	10,019円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の主な変動要因 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期の短期金利は小幅上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。

物価上昇率が目標とする2%まで乖離がある状態が続いたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

日銀は需給動向を勘案しながら短期国債の買入れを調整したことから、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス圏でのレンジ推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.200%に対し、期末には-0.180%へ小幅上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏で推移しています。

残存0年から1年3ヵ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.013% (0.013)	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 その他 : 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.013	

期中の平均基準価額は10,021円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 66,995	千円 - (69,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2018年3月2日から2019年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示／国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	66,000 (66,000)	66,582 (66,582)	74.1 (74.1)	— (—)	— (—)	— (—)	74.1 (74.1)
合 計	66,000 (66,000)	66,582 (66,582)	74.1 (74.1)	— (—)	— (—)	— (—)	74.1 (74.1)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示／国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	17,000	17,238	2020/3/18
	第8回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.5	16,000	16,056	2019/5/24
	第95回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	17,000	17,173	2019/12/27
	第3回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.5	16,000	16,113	2019/8/16
合 計	計	—	66,000	66,582	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2019年3月1日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	66,582	62.2	66,582	62.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	40,473	37.8	40,473	37.8
投 資 信 託 財 産 総 額	107,055	100.0	107,055	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月1日現在)

項目	期末
(A) 資産	107,055,375円
コール・ローン等	40,251,327
公社債(評価額)	66,582,000
未収利息	222,048
(B) 負債	17,239,090
未払金	17,238,850
未払利息	33
その他未払費用	207
(C) 純資産総額(A-B)	89,816,285
元本	89,650,363
次期繰越損益金	165,922
(D) 受益権総口数	89,650,363口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円

※当期における期首元本額90,260,179円、期中追加設定元本額76,811,023円、期中一部解約元本額77,420,839円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

日興ワールドCBファンド(通貨アルファ戦略コース)	8,495,310円
日興ワールドCBファンド(円ヘッジありコース)	2,445,519円
日興ワールドCBファンド(円ヘッジなしコース)	1,548,154円
インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3か月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3か月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	209,527円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジなし)	179,593円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
アジア高利回り現地通貨建て債券ファンド(毎月分配型)	9,963円
アジア高利回り現地通貨建て債券ファンド(資産成長型)	9,963円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2018年3月2日 至2019年3月1日)

項目	当期
(A) 配当等収益	974,849円
受取利息	985,681
支払利息	△ 10,832
(B) 有価証券売買損益	△ 1,021,170
売却損	△ 1,021,170
(C) 信託報酬等	△ 12,121
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 58,442
(E) 前期繰越損益金	225,710
(F) 追加信託差損益金	168,977
(G) 解約差損益金	△ 170,323
(H) 計(D+E+F+G)	165,922
次期繰越損益金(H)	165,922

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。